

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児看護実践論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	寺崎 経子	実務経験と その関連資格	総合病院にて臨床経験 計15年(主に小児病棟勤務) 地域の学校看護師などの経験			
《授業科目における学習内容》						
科目目標: ①事例を用いた看護過程の展開をふまえ、状況に応じた看護を理解する ②健康障害のある子どもの日常生活援助や治療検査に伴う援助について理解する						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】 課題と演習(50%)、終講試験(50%) 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシンググラフィカ 小児看護学③小児の疾患と看護、中村友彦編、メディカ出版 【参考書】 ナーシンググラフィカ 小児看護学①小児の発達と看護、中野綾美編、メディカ出版 ナーシンググラフィカ 小児看護学②看護技術、中野綾美編、メディカ出版						
《授業外における学習方法》						
1)「小児看護学概論」「小児の健康増進への看護」「小児の健康障害の看護」を復習しておく。 2) 事例の看護過程を展開し理解するために、「基礎技術Ⅱ」を復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
1) 模擬事例患者の看護過程の展開し、実践をイメージする。 2) 個人課題であり学習ファイルを各自で作成し、学習内容をまとめていく。(評価課題で他者の内容を写すなどの行為は禁止) 3) 模擬事例患児のイメージしながら演習を行い、より良い看護実践を探求する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	子どもの看護過程の展開の特徴を理解する 子どものセルフケアの援助を考える		教科書「小児看護学①」と学習ファイル	「小児の環境整備」の援助計画を作成し次回授業前に提出	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 小児の看護過程の特徴 看護過程の展開に必要な知識、アセスメントプロセス 小児の安全な環境について 				
第2回	授業を通じての到達目標	事例(乳児期、気管支炎)の健康障害と入院が成長発達、生活および家族に及ぼす影響を理解する		教科書「小児看護学①」と学習ファイル	アセスメントシート①と事例患児の治療内容、検査結果について調べた内容を次回授業前に提出	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 入院が子どもの生活に及ぼす影響 入院が子どもの成長発達に及ぼす影響 入院が子どもの心理面に及ぼす影響 入院が子どもの家族や社会面に及ぼす影響 				
第3回	授業を通じての到達目標	子どもの健康障害の治療とその看護を理解する		教科書「小児看護学②」p160～162,134～143,40～45と学習ファイル	「バイタルサインの測定」の援助計画作成し次回授業前に提出	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 脱水を生じた患児の看護(点滴静脈注射の管理) 吸入、吸引の意義と患児の看護 発熱のある患児の看護 				
第4回	授業を通じての到達目標	子どもの病状をアセスメントし必要な看護を考えることができる		教科書「小児看護学①②③」と学習ファイル	アセスメントシート②(全体像)追加修正を行い完成させ次回授業前に提出	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの身体的特徴とリスク 子どもの3側面の理解と必要な看護 				
第5回	授業を通じての到達目標	子どもの特徴をふまえ健康回復を目指した援助計画を立案できる		教科書「小児看護学①②③」と学習ファイル	事例患児に合わせた「バイタルサイン測定」「環境整備」の援助計画作成し次回授業前に提出	
	各コマにおける授業予定	<ul style="list-style-type: none"> 事例の看護上の問題とその根拠 事例の期待される結果 事例の看護計画の立案 				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	事例の状況設定に応じ、援助を実施できる【演習】	教科書「小児看護学①②③」と学習ファイル 観察に必要な物品	アセスメントシート①②を追加修正し提出する
	各コマにおける授業予定	患児に必要な看護を実践する (VS、環境整備、症状に対する看護)		
第7回	授業を通じての到達目標	事例の状況設定に応じ、援助を実施できる【演習】	教科書と学習ファイル 観察に必要な物品	演習の内容をふまえ、SOAP記載した援助計画を提出する
	各コマにおける授業予定	実際の看護場面をロールプレイを用い実施する		
第8回	授業を通じての到達目標	終講試験		
	各コマにおける授業予定	終講試験		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			